

事務事業名		交通安全事業		会計		一般会計		実施区分					
H28担当課等名		危機管理室		H28係等名		交通安全係		H27係等名		交通安全係			
基本計画上の位置づけ		政策		4		暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり		施策		42		交通安全の推進	
目的	対象(誰・何を)	歩行者及び自転車・自動車運転者等全ての道路利用者											
	意図(どういう状態にするか)	交通安全に対する意識が高まる											
	向上させたい上位施策の成果指標	交通事故死傷者数											
		指標名及び単位		27年度計画		27年度実績		28年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)	
目標	種別	指標名及び単位											
	成果指標	人身事故発生件数の抑止		410	369	400	-						
	成果指標	シートベルト着用率(総合)		1	0.98	1	-						
定性目標													
事業概要		<p>道路交通の安全を確保するため、各まちづくり委員会等の組織内の交通安全担当委員会において、道路利用者に対する交通安全の啓発、幼児・児童、高齢者に対する交通安全教育、交通安全運動における広報・啓発等を行い、交通安全思想の普及を行う。</p>											
27年度事業内容		事業内容				名称				活動指標			
		1 交通弱者に対する交通安全教育の実施 2 交通安全高齢者宅訪問 3 交通安全パトロール・広報 4 交通安全運動中の人波作戦、指導所 5 飯田市安全大会の開催 6 交通少年団の活動 7 シートベルト着用の啓発活動				1 交通安全教育回数 2 高齢者宅訪問戸数 3 パトロール等回数 4 指導所等回数 5 市民大会回数 6 少年団活動・回数 7 指導所、広報等回数				1 64回 2 90戸 3 119回 4 112回 5 2回 6 9回 7 9回			
事業コスト		26年度決算額		27年度予算額		27年度決算額		28年度予算額		特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		1,376		1,433		1,178		1,405					
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		1,376		1,433		1,178		1,405					
人件費計(千円)②		1,073				1,073							
正規職員所要時間		300				300							
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		2,449		1,433		2,251		1,405					
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>飯田市の交通事故発生件数・負傷者数は大幅に減少している。交通事故死者数は前年同数であった。高齢者モデル地区を中心とした高齢者家庭訪問を実施し、高齢者事故を減少させた。この事業を継続して実施し、交通安全に対する意識高揚を図っていく。</p>											
改革改善の考え方		<p>①問題点 交通事故件数は減少しているものの、高齢者の交通事故率は高く、高齢者を中心とした啓発活動を行い事故減少を図る。</p> <p>②改革提案 高齢者への啓発については、高齢者施設への訪問、各地区など的高齢者の集まりに合せ、交通安全講習を回数多く行っていく。</p>											